

平成31年度 地域研修(仮称)実施方法 骨子(案)

1. 地域研修の概要

(1) 研修の対象者

地域の防災に関わる自治体職員（主に初級者）を基本とする。

(2) 研修内容

以下の内容を基本とする。ただし、カリキュラムの追加や一部変更など、調整することも可能。

① 日数・時間

- 2日間（連続）
- 研修時間は9：30開始、17：30修了
※ただし、1日目は9：15からオリエンテーション（15分）を実施

② カリキュラム

- 別紙の基本カリキュラムを基本とする。
- 必ず実施していただく「必須単元」と、地域の希望に応じて行う「地域調整単元」がある。地域のニーズに応じてカリキュラムを調整する場合は、原則「地域調整単元」で調整する。

③ 定員

- 50名程度（演習を実施する場合）

④ 開催場所

- 応募団体の希望に沿う（※会場借用費用は応募団体の負担）

⑤ 実施期間

- 平成31年8月～平成32年1月

⑥ 受講料

- 無料

⑦ 開催主体者

- 応募団体と内閣府の共催

(3) 応募団体と内閣府との役割分担

準備から研修当日の運営、研修結果の整理など研修の企画・運営に係る一連の事務について、応募団体と内閣府との役割分担は次の通り。

応募団体と内閣府の役割分担

区分	企画・運営事務の項目	応募団体	内閣府
準備	基本カリキュラムの提供		●
	研修企画マニュアルの提供、準備助言		●
	地域企画枠の企画、内閣府との調整	●	●
	講師との事前調整	● 自主企画分	●
	広報（パンフレット、ホームページ等）	●	●
	募集・受付事務	●	
	会場の確保（費用含む）	●	
	受講生受け入れ準備（名簿・名札・座席表の作成等）	●	
	研修資料データの提供（内閣府担当分）		●
	研修配布資料印刷		●
	事前アンケート調査票の提供		●
	事前アンケートの実施	●	
	交流会等の企画・広報・募集（任意）	●	
研修運営	研修会場の準備	●	●
	受講者受付、受講者対応	●	
	講師接遇		●
	研修運営（司会、オリエンテーション含む）		●
	記録（録音、ビデオ、デジカメ）		●
	アンケートの実施		●
	交流会の実施	●	△ 支援
研修後	講師謝金支払い	● 自主企画分	●
	研修効果、改善に係る調査	△ 協力	●

(4) 費用負担について

- 以下の費用は応募団体の負担とする。
 - ✓ 会場借用費用
 - ✓ 自主企画に係る講師謝金・旅費等
 - ✓ その他、募集団体が独自に実施する企画等の費用

2. 募集方法

(1) 募集团体数

- 8団体程度

(2) 応募可能な団体

- 都道府県を基本に、テーマに合わせて複数の都道府県・市区町村が合同して応募することも可能。

(例)

- ✓ 都道府県の単独応募
- ✓ 中規模災害時に応援をしあえる近隣都道府県の合同応募
- ✓ 広域連合体での応募
- ✓ 南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている市区町村の合同応募

3. 募集期間後のスケジュール

	平成31年										平成32年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
選定・結果通知		■											
実施日程・カリキュラムの調整 (2ヶ月程度)			■	■	■	■	■						
受講者の募集 (1ヶ月程度)				■	■	■	■	■	■				
研修実施 (2日間)					■	■	■	■	■	■			
研修効果、改善に係る調査への 協力 (適宜)					■	■	■	■	■	■	■	■	